今後の日程

(12月)

12／2　差別事件報告集会（プラザホープ）
12／3　中小企業運動部冬期税務指導実務者研修会（大阪）
12／4　対新宮市交渉（市役所）
12／6　執行委員会・県委員会（同和企業センター）
12／7～8　中央福祉学校（福岡市）
12／8　平和と人権の集い（西和佐小学校）
12／10　世界人権宣言65周年記念東京・大阪集会
12／11　Y住宅販売会社差別事件対策会議（大阪）
12／17　県共闘幹事会
12／19　同宗連との話し合い
12／20　狭山ビラ統一行動
12／20　対県2次交渉（自治会館）
12／24　対県2次交渉（東急イン）
12／27　仕事おさめ

◆伊都郡（10／9・振興局）

藤井静雄・紀北ブロック長は「土地差別調査にかかわって、不景気で地価が下落しているうえに、ここは部落だから単価が安いという土地差別は許されない」とあいさつした。古田雅昭・振興局長は「Y社土地差別事件にかんして、啓発に力をいれて解決にむけてとりくむ」とあいさつした。交渉では、土地差別事件、小中一貫校の成果と問題点について、橋本市の古佐田丘中学校の募集定員の削減問題、伊都高校の廃校問題について議論された。

◆厚生労働省（9／27・省内）

個人情報不正取得について、横浜の職業安定所嘱託職員情報漏洩事件の証拠書類を警察が所持しており、不正に取得した書類は返されない可能性があるとの回答がされ、事件発生から1年以上原因究明がされていないことが明らかとなった。また、ハローワーク職員の半数以上が非正規雇用ということも関係しているのではないかということを指摘した。

2006年に愛知県の「湯浅勉」行政書士が起こした不正取得事件について、行政書士は許可を剥奪されたが、社会保険労務士として仕事をしており、八士業として戸籍や住民票の職務上請求ができることは許されるものではない。許可を認可する省庁から再発防止のためにも、職務上請求書を適切に使用しているのかを抜き打ちでチェックするよう要求した。

就職差別の撤廃については、全国で昨年1040件の就職差別につながる不適切な面接が報告されているが、これらは氷山の一角であることを認識し、啓発・指導すること、公正採用選考人権啓発推進員の設置基準について100％になるようとりくみをすすめるよう求めた。

また、隣保館について厚労省は、福祉をはじめ相談事業、人権研修など住民の拠点を担う大きな役割を担っているため、引き続き、隣保館事業を推進していくとの回答した。運営費についても最大限の努力をしていくと回答があった。

新たな方向性を視野に
全国労働対策部長会議

9月27日、東京中央本部で全国労働運動部長会議がひらかれ、県連から平見良太・部長、松井辰也・副部長、事務局2人が出席した。

会議では、中央生活労働運動部を代表して谷川雅彦・中執から「65歳以上の雇用が見直されてきている。そんななか、あらたな方向性を視野にいれた雇用について考えなければならない。中央本部に集まる情報をみんなで共有し考えていこう」とあいさつがあった。

協議事項として、厚生労働省との事務折衝報告があり、午後からの交渉の要求項目について確認をした。

京都府連から「職業訓練を受ける際に、部落には教育の課題があるため受験規定を満たさない人がいる。隣保館から推せんする就職困難者の位置づけを確認し、訓練が受けられるように要求してほしい」との意見があった。東京都連からは「隣保館の役割をする施設がなく、就職困難者としての認定が得られにくい」、各府県連も「隣保館が閉館や指定管理となって認定が受けにくくなったことで部落の人が施策を受けられないことのないように交渉課題としてとりくんでほしい」との意見も出された。

今後、厚労省との情報交換を定期的に実施し、各地域へ提供していくことを確認した。

対県交渉にむけ、議論
女性対策部会議

第1回女性対策部会議を10月5日、県連事務所でおこなった。第37回女性部定期大会以降の各支部女性部定期大会や、近畿女性部交流会の参加者が報告した。対県交渉の要求について議論し、女性差別撤廃条約の批准から男女共同参画が施行され女性の法整備も一定はすすんでいるが、部落の女性に浸透していないことについて県として具体的な施策を問う。

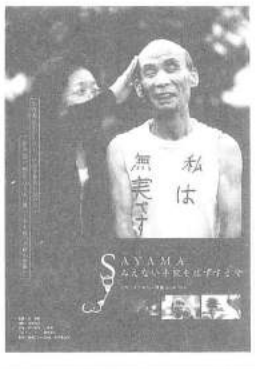
支部狭山学習会ひらく

新たな局面をむかえ、狭山学習会が16支部でひらかれている。学習会は、検察から新たに開示された新証拠に基づき、弁護団が裁判所に提出した資料に沿ってすすめられた。大きな焦点は、被害者の首を絞めたとされる手ぬぐいと被害者のものとされる腕時計だ。学習会を予定している支部は、県連事務所まで連絡を。

ドキュメンタリー映画「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」

50年、殺人犯というレッテルを背負いながら、泣き、笑い、怒り、日々を〝凛〟と生き抜く夫婦の物語。

◆ドキュメンタリー映画
「SAYAMA　みえない手錠をはずすまで」
（2013年／105分）
監督：金聖雄
撮影：池田俊已
音楽：谷川賢作、小室均
プロデューサー：陣内直行
製作：映画「SAYAMA」製作委員会



映画のチラシ

支部で大会ひらく

●**那賀支部**定期大会が9月24日、総合センターでひらかれた。役員は昨年のとおり。
支部長　金田　光央
●**杭ノ瀬支部**女性部定期大会が10月10日、杭ノ瀬文化会館でひらかれた。役員は昨年のとおり。
女性部長　松田　康子

支局からのお知らせ

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思います。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！　写真を添えて支局までお送り下さい。

お気軽にお電話を！

（発送先）〒640－8314
和歌山市神前405－3
部落解放同盟県連合会内
解放新聞和歌山支局宛